

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	—			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】自社ホームページ等で環境活動への取り組み内容を公開												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】空いている工場屋根を活用したソーラーパネル、太陽光発電設備を導入検討。買電エネルギーを見直す							7.2						13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】認証製品(森林、パーム油、ゴムなどのプランテーションにより生産される原材料など)を利用する												12.2	13	14	15			
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・増収賄禁止等を含む行動規範を就業規則第3章13条で定め、社内浸透を図っている																	16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争、癒着などの禁止、不当利益の禁止を含む行動規範の整備と社内浸透を図っている																	16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】保護が必要な特許及び商標は知的財産権を侵害をしてないか確認する								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報取扱規程を整備し、就業規則第21条に定められている																		16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社製品の原材料サプライチェーンを把握している																		16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】企業理念、関係法令や規則に基づき、公平公正な取引、法令順守、グローバルな人権問題等に配慮する。材料(メタル)のサプライチェーンに問題がないかをチェックする					5				8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品の洗浄はできる限り安全なものを使用している。 製品の有害化学物質の低減、環境配慮設計の推進、製品への環境規制・ニーズ対応に引き続き取り組む			3.9									12.4						
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	【予定】良品を提供するためのマニュアルの作成。不良品率の削減と納期内の納品を推進する														9				
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	—						6						12	13	14	15			
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	—	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

